

平成27年度 学校経営計画書

石川県立宝達高等学校

校長 上野 尚子

1 教育目標

生徒一人一人の個性を伸張り、明るく活力のある学校を目指す。
 自主自律の精神を培い、21世紀に活躍できる人材を育成する。
 創造性を培い、広い視野をもつ人材を育成する。
 心の豊かさを涵養し、心身ともに健全な人材を育成する。

2 中・長期的目標

ふるさとに誇りを持って地域の発展に貢献できる人材を育成する学校づくりを目指す。

(1) 学校の現状

生徒の多様な進路希望に応えるため、習熟度別少人数指導や進路希望別コースを設定し、個に応じたきめ細かな指導を行っている。学ぶ意欲を喚起し、確かな基礎学力定着につながる「分かる授業」の実践や「生徒の表現力を高める」授業改善に取り組んでいる。
 豊かな人間性や社会性を育み心身ともに健全な生徒を育成するため、基本的生活習慣の確立、規範意識の醸成、部活動の活性化や教育相談の充実に取り組んでいる。
 キャリア教育の充実のため、企業・大学見学やインターンシップ等に積極的に取り組み、勤労観や職業観を育成し、主体的に進路実現に努める生徒の育成に取り組んでいる。
 地域との連携や小・中学校との交流活動、ボランティア活動の参加等を通して、ふるさとを愛し、地域社会の活性化に主体的に参画できる人材を育成し、地域から信頼される学校づくりに取り組んでいる。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

学習習慣の確立と明確な進路目標を早期に決定させ、確かな基礎学力を身に付け、思考力・判断力・表現力を育み、自ら学ぶ意欲と社会を生き抜く資質・能力を持った生徒を育成する。
 基本的生活習慣を確立し、規範意識を高揚させ、部活動に積極的に参加することによって、社会のルールやモラルを重んじつつ、健康・体力の保持増進に努め、自律的で人を思いやる心豊かな生徒を育成する。
 道德教育やキャリア教育を教育活動全体を通して行い、人間としての在り方生き方教育を充実させ、望ましい勤労観・職業観を涵養し、主体的に自己の進路実現に取り組む生徒を育成する。
 地域への貢献活動やボランティア活動等を通して、地域への愛着や誇りを持ち、広い視野にたつて社会に貢献する人材を育成する。

(3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

全教職員が授業改善に生かせるよう、専門性を高める研修や社会的視野を拡げる取り組みを推進し、指導力や人間力の向上を図るための自己研鑽に取り組む。
 学力の三要素(知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等、主体的に学習に取り組む態度)を基盤として学習到達度を踏まえ、自校のスクールポリシーに基づく学力スタンダードを作成し、意図的・計画的な指導を行い、生徒一人一人の学力を高め、学力の質の確保に努める。
 保護者や地域の期待に応え、学校のさまざまな課題に対応するため、一人一人が学校長の経営方針を理解し、各課・学年が協働する態勢づくりを推進して組織的・機動的な学校経営に努める。

3 今年度の重点目標

分かる授業を実践することによって、基礎学力の定着と論理的・批判的思考力の育成を図り、キャリア教育の実践と3年間の進路指導態勢の充実を図り、進路志望100%実現を目指す。
 ・ICTや学び直しの効果的な活用と評価及び言語活動の充実を図り、生徒の学ぶ意欲を喚起する。
 ・学習規律を遵守させる指導を徹底し、学習習慣の確立を組織的に指導する。
 生徒は、基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚に努め、挨拶の励行と社会人としてのマナーやコミュニケーション能力を身に付けさせ、自ら考え、行動する自主自律の精神を持った社会人の資質を培う。
 生徒と積極的にかかわりを持ち、部活動の一層の活性化・充実を図る。学校行事、生徒会活動、部活動、地域への貢献活動やボランティア活動で、生徒の自主性や参加意欲、成就感を育てるとともに、宝達高生としての母校への帰属意識や自己有用感の涵養に努め、人間性や社会性を磨く。
 積極的に保護者や地域に本校の良さや成果等の情報、提案等を発信するとともに、小・中学校との連携を一層密にし、保護者や地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。